



もうひとつの居場所
もうひとりの大人

平成29年5月29日

子どもの貧困対策担当部

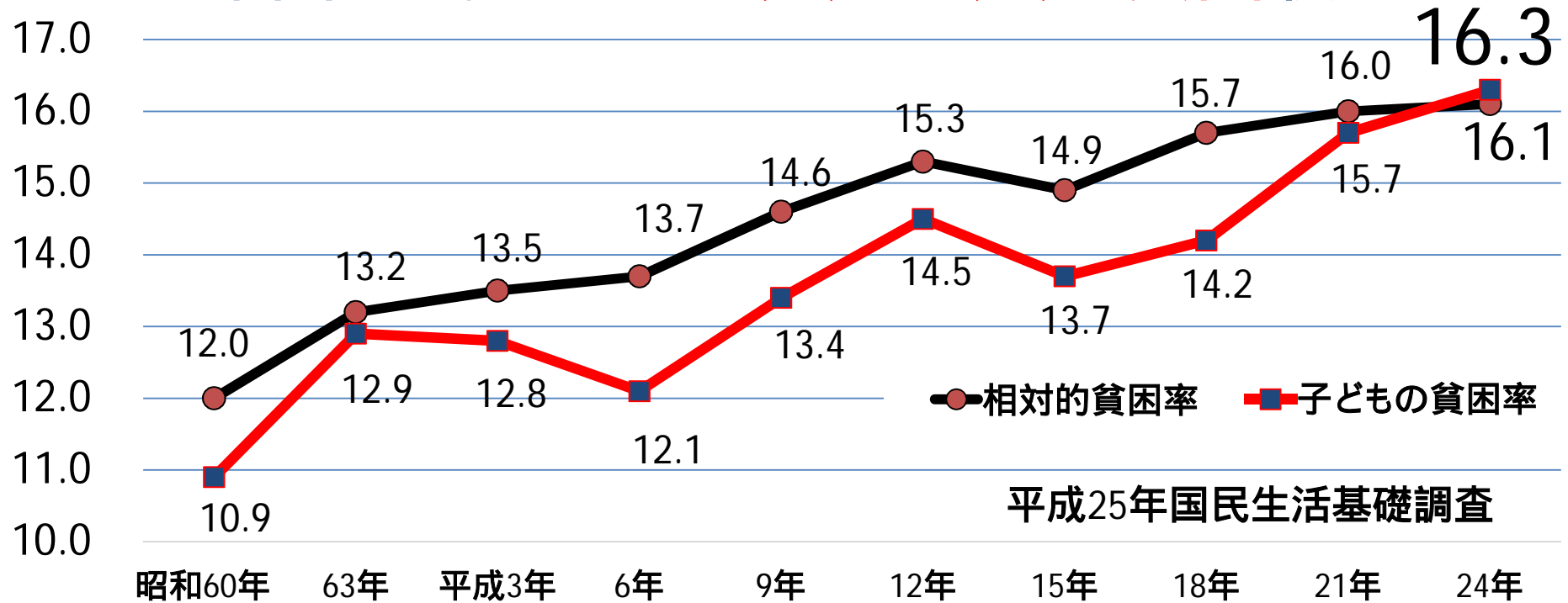


日本の相対的貧困率

・ 相対的貧困率 16.1 %

・ 子どもの貧困率 16.3 %

日本の子どもの6人に1人が貧困状態



子どもの貧困は本当にあるのか？

「絶対的貧困」

「相対的貧困」



見えない貧困



取組みの経緯

4つのボトルネック的課題

(= 克服しない限り区内外から正当な評価が得られない
根本的課題)

治安

- ・刑法犯認知件数が23区ワースト1
- ・「美しいまちは安全なまち」を合言葉に、“ビューティフル・ウィンドウズ運動”に取り組む

学力

- ・小・中学校の学力テスト結果 23区で低位
- ・基礎学力の定着を目指した取組み

健康

- ・区民の健康寿命が都平均より2歳短い
- ・総花的な健康対策から、糖尿病対策に特化

貧困の連鎖

- ・生活保護・就学援助受給者が多く、貧困が子どもたちに“連鎖”

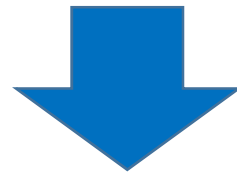


根底にある共通の原因

「**貧困の連鎖**」を断つ

||

次代を担う子どもも支援



活力にあふれ **進化**し続ける **足立**

基本理念

全ての子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、自分の将来に希望を持てる社会の実現

次代の担い手となる子どもたちが「生き抜く力」を持つことで、自分の人生を自ら切り開き、貧困の連鎖に陥らず社会で自立

子どもの貧困を**経済的な困窮**だけで捉えず、**社会的孤立**や**健康上の問題**など成育環境全般にわたる**複合的な課題**と捉え、その解決や予防に取り組む

取組み姿勢

全庁的な取組み

「予防、連鎖を断つ」

早期のきめ細やかな施策の実施

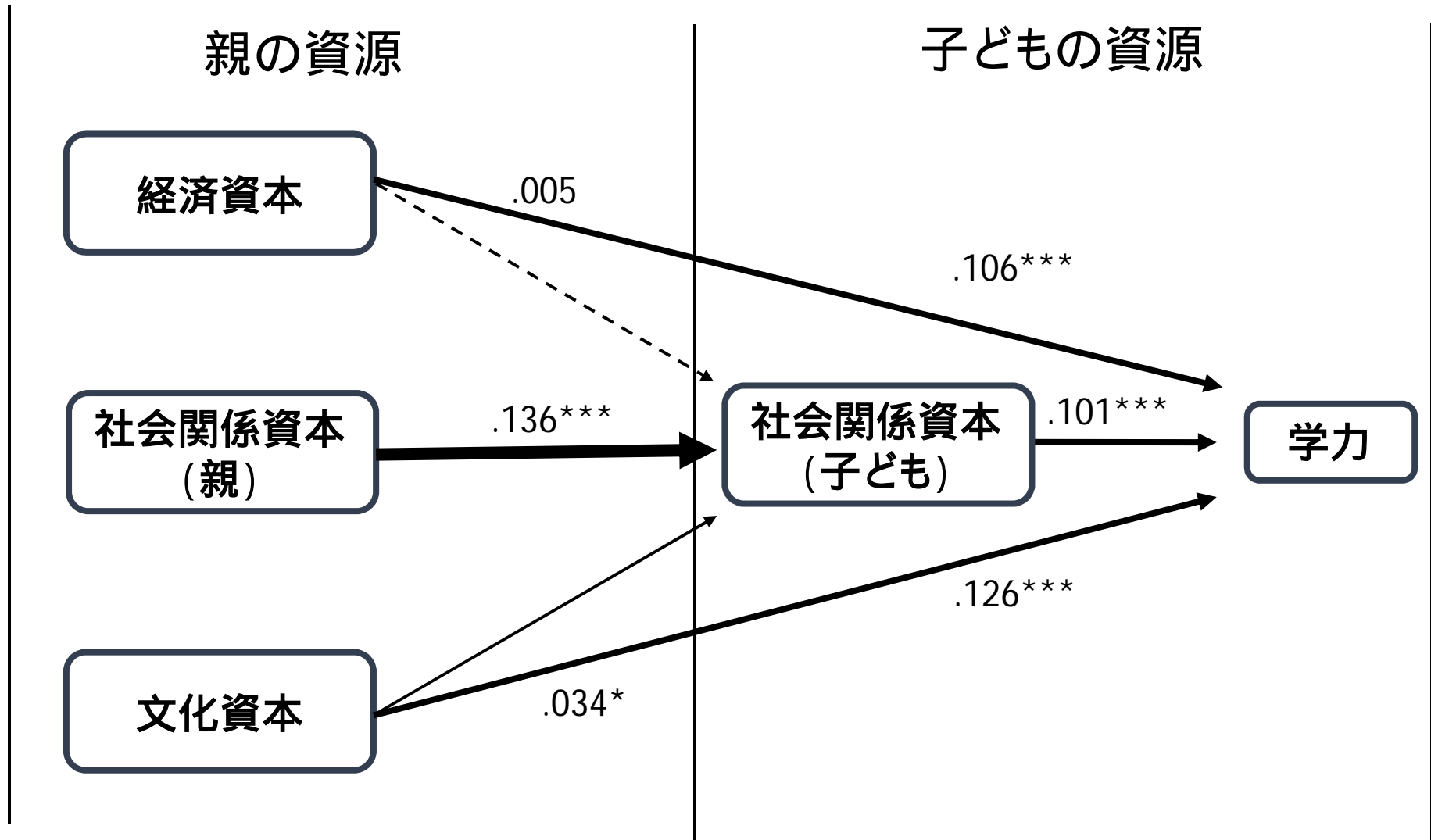
学校をプラットフォームに

リスクの高い家庭への支援

NPO等との連携

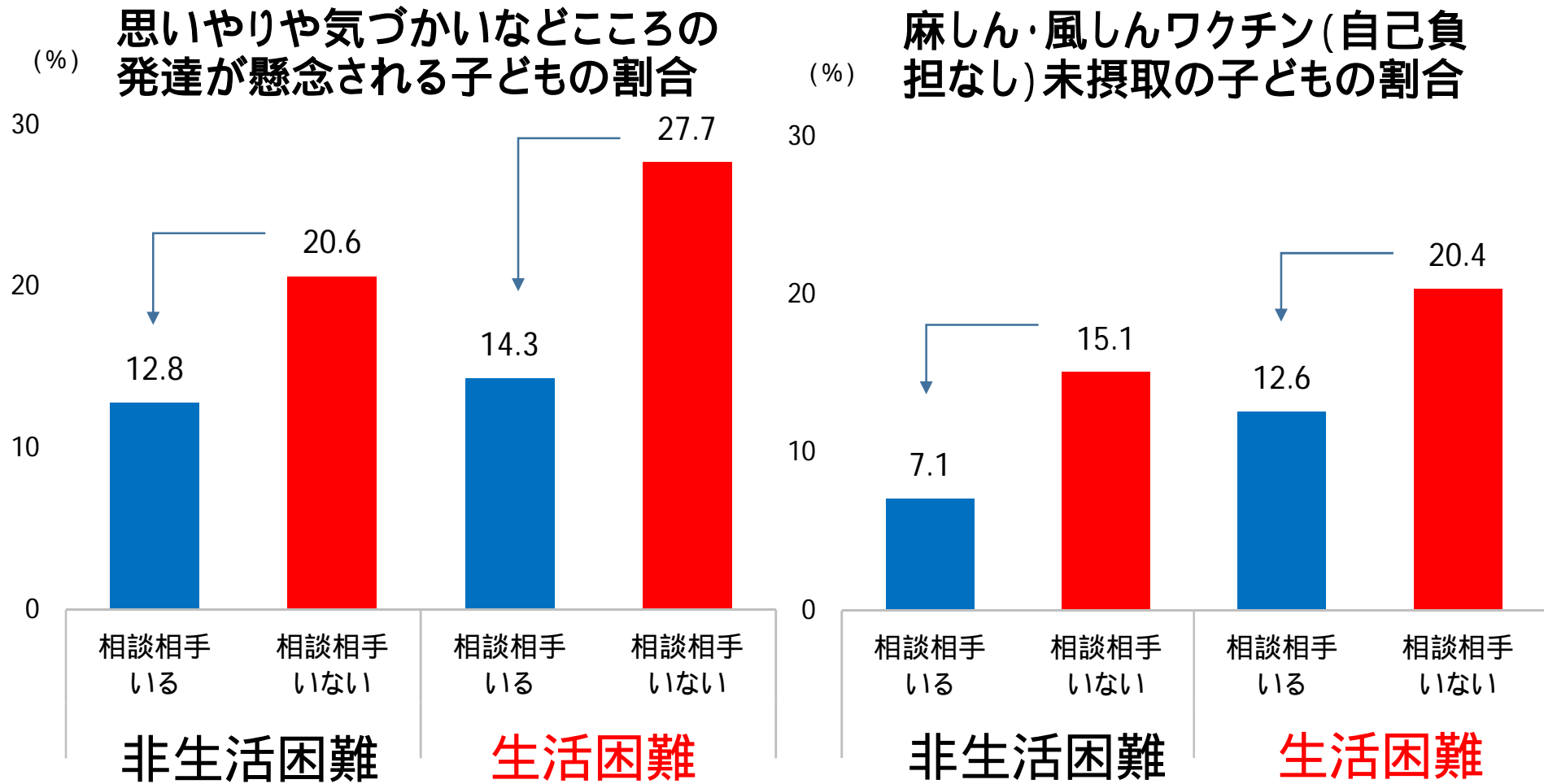
国、都等への働きかけ

家庭の諸資源と子どもの学力



(出典) 志水宏吉 「つながり格差」が学力格差を生む

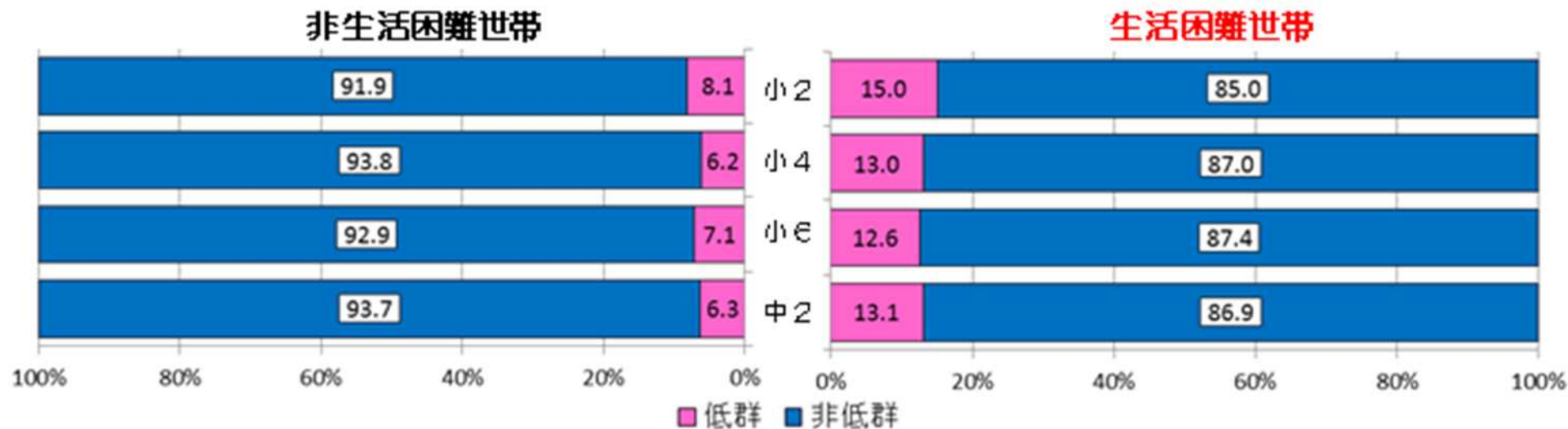
子どもの健康・生活と「生活困難」との関連 (第1回調査結果)



保護者が困ったときに相談できる相手がいると
子どもの健康リスクが軽減する

子どもの健康・生活と「生活困難」との関係 (第2回調査結果)

【逆境を乗り越える力 (自己肯定感・自己制御能力など)】



逆境を乗り越える力が低い子どもの割合は生活困難世帯では非生活困難世帯の約2倍

目指すのは

子どもたちを **地域で見守り育てる**

||

もうひとつの**居場所** もうひとりの**大人**

家庭や学校以外の「**他者**」と関われる場所

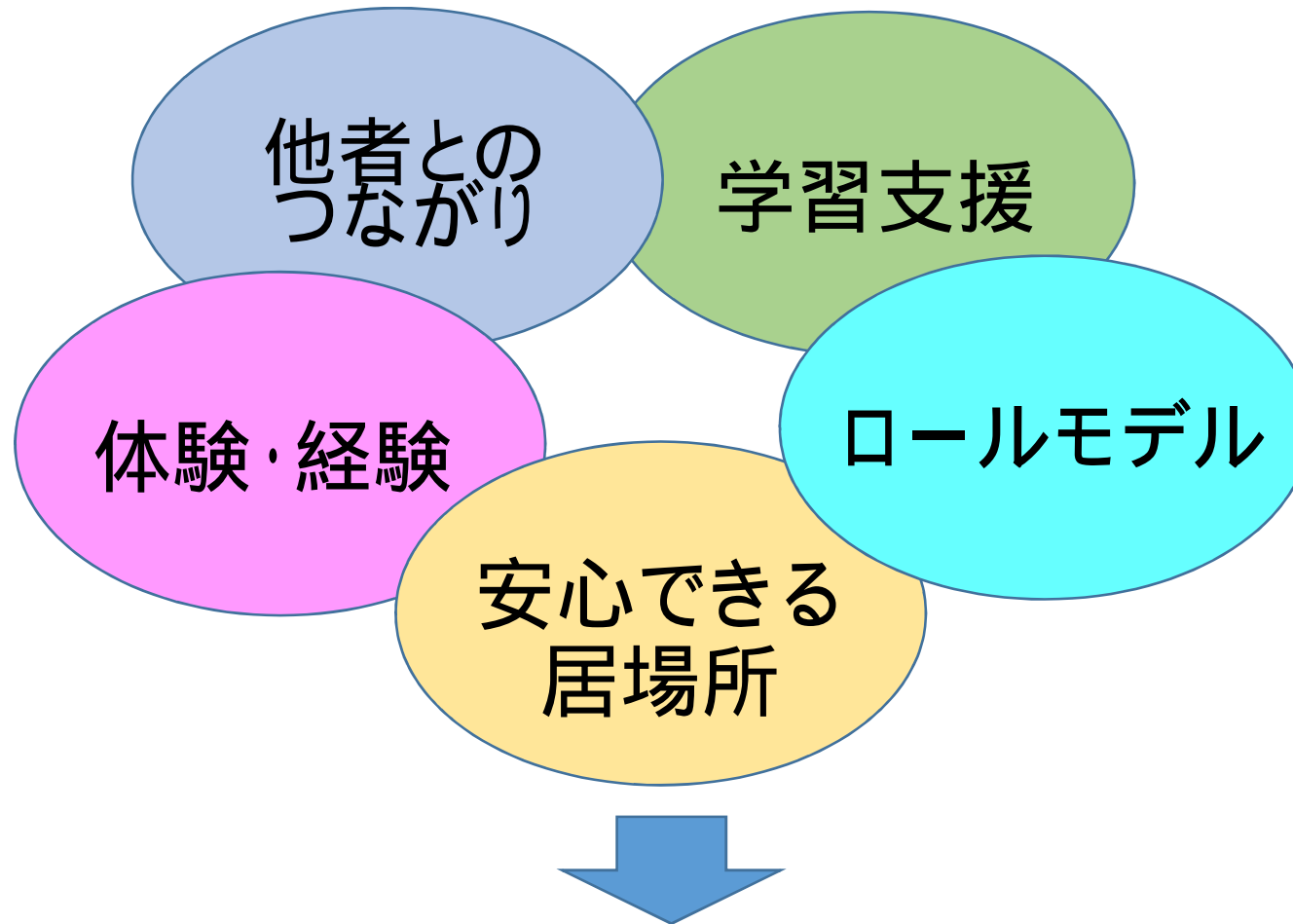
信頼できる**大人**がいる場所

自分を**認めてくれる**場所

安心して**いられる**場所

子どもたちがいつでも来られるように**継続的**な活動を

目に見える学力(認知能力)だけではなく
見えない学力(非認知能力)を高めることが重要



子どもたちの「生き抜く力」を育む

子どもの明るい未来のために

みなさんへの3つのお願い

1. こちらから声をかけてください
(顔の見える関係・孤立させない)
2. 子どもを褒めてあげてください
(認める・自己肯定感を育む)
3. 皆さんが健康でいてください
(ロールモデル・健康の大切さを伝える)

